

平成 29 年度 学校図書館県外視察研修会 専門委員会レポート

浜松開誠館中学校高等学校 原田智子

【1日目：11月21日（火）】

奈良市立一条高等学校

1日目は奈良県立一条高等学校を視察した。1950年、奈良市内で初めての市立高校として開校し、翌1951年には日本で初めて外国語科を開設した。その後も、数理科学科・人文科学コースを設置し、現在では、普通、外国語、数理科、人文学科の4学科を持つ高校である。また、アクティブラーニングの見本となる「よのなか科」が設置されており、正解のない成熟社会特有の課題を取り扱い、「考える」手法を学ぶことができる。現生徒数は1080名（27学級）である。

～図書館について～



校舎東側に「芸亭伝承地」とかかれた顕彰碑が建てられており、日本最初の公開図書館があった場所だとされている。蔵書数は26787冊、学期に一度、一週間にわたり朝読書を実施したり、ビブリオバトル決勝大会に出場したりなど、図書館活動も盛んである。赤木かん子氏監修のもと、図書館改装も行った。広いスペースを有効に使い、生徒の興味関心を引く試みがなされている。各全集や概論、県史、市史もたいへん充実しており、閉館時間である18時30分まで毎日20人弱の生徒たちが残る。年間800冊の本を購入している。



たいへん広々とした図書館である。図書の紹介カードが掲示されており、装飾も工夫がなされている。文芸部が作成した文芸誌も置かれていた。床は絨毯が敷かれており、生徒は自由な姿勢で読書をしたり本を探したりしている姿が印象的であり、のびのびとした雰囲気である。観光地であり、世界遺産がある奈良に立地する高校ならではの蔵書も見られた。

～ICT について～

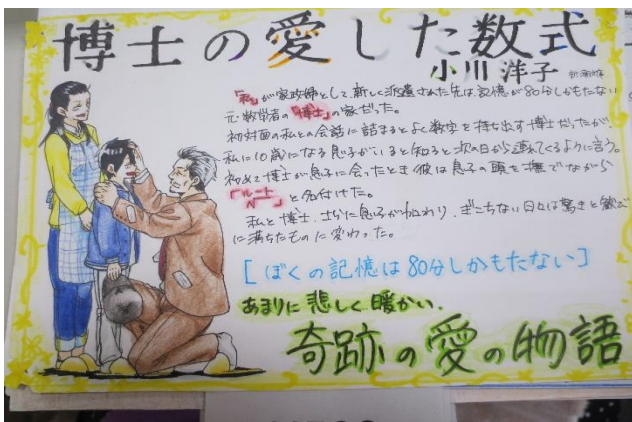


一条高校の特色ある教育活動として「スーパースマートスクール（SSS）」がある。生徒たちが所有しているスマートフォンを使用した授業づくりを展開しており、“ヒト”とICTを効果的に結び付ける、より主体的な学びを実践する試みがなされている。例えば、授業においてはスマートフォンを用いたアクティブラーニングを行い対話的主体的授業を展開し、個別にアダプティブラーニング（個別最適化学習）を行うことにより知識の定着をはかっている。Wi-Fi の設置や C-Learning の導入など、ICT を根付かせるための紆余曲折についてお話をいただき、大変参考になった。

【2日目：11月22日（水）】

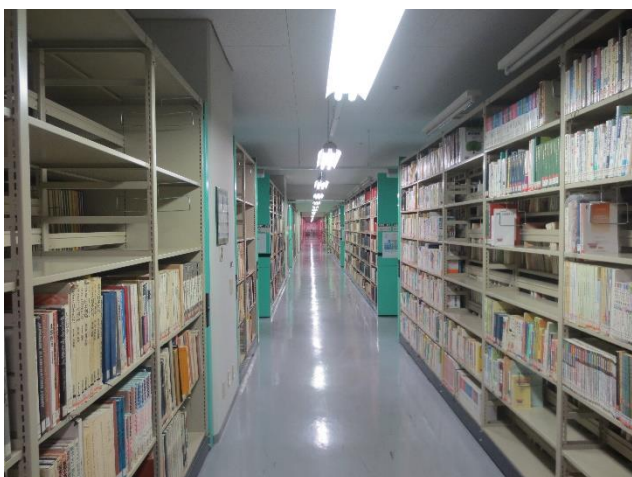
大阪府立中央図書館

日本最大級の蔵書を誇る公共図書館である。国際児童文学館を併せて、蔵書数は280万4千12冊、音響・映像資料は3万9千点である。「りぶりこ」「YA!YA!YA!べんりやん図書館」など、青少年への読書支援活動を展開しており、学校支援活動にも力を入れている。また、国際児童文学館においては、児童の読書指導、総合資料の収集・保存・活用の役割を担っている。



全館バリアフリー化がなされており、入口を入ってすぐの広々としたエントランスホールや蔵書検索システムの設置など、まさに世界最大級の蔵書を誇る図書館にふさわしい施設である。特に乳幼児から児童への読書活動が盛んであり、子供向けの展示やお話し会など、時期に応じた読書活動を支援している。

また、「本のPOP広場」と題されたコンクールには、中高生併せて1200点ほどの応募があり、工夫を凝らしたPOPが多数見られる。



地下書庫を見学させていただいた。縦横約100メートルに及ぶ地下書庫は、素早く資料を届けるために三輪車で移動することになっている。蔵書の約85%が地下書庫に保管されており、貴重な図書が多数見られる。常に空調において温度と湿度が管理されている。

近畿大学附属中学高等学校

授業や学校行事など様々な場面で iPad を使用し、生徒の自発的学びを引き出している。2015 年度より高等学校全学年の生徒が iPad を持ち、現在は中学校全課程の全生徒を含めて約 4000 台の iPad が稼働するという、ICT 推進校である。校舎からグラウンドに至るまで Wi-Fi 環境が整っている。運用ポリシーとして「Free Internet」「Free Apps Download」「Free Use 24 hours」を掲げ、使用制約を減らすことで、生徒たちはすべての情報を iPad に網羅し傍らには常に iPad を持っている。



高校2年生の数学の授業を見学させていただいた。iPad を用いたアクティブラーニングが行われており、生徒自身が教師役となり難問を解説したり、解説を聞いている生徒も iPad を使用しながら問題解決の糸口を探っていくなど、生徒の自主性を垣間見た授業であった。生徒たちは慣れた様子で授業に取り組んでおり、何よりも楽しく学んでいる姿が印象的であった。



図書室は5万冊を超える蔵書があり、雑誌の種類も豊富で自習スペースも整っている。



～感想～

今回、研修をさせていただいた2校は、いずれも先進的な ICT 授業を展開しており、常に課題と向き合い修正しながら、独自の試みを積極的に行っているという点において大いに参考になった。また、情報発信基地として、校内においても図書館の果たす役割の大きさを改めて感じる事ができた。